

# 産前・産後を

## 安心して過ごさせるように



宿泊施設を利用した産後ケア



**問** 妊産婦のあんしんサポートにどう取り組んだのか。

**答** 安心して妊娠期を過ごし、育児ができるように産前・産後のサポートに取り組んでいる。

産後のケアは、助産師が出向いて指導するアウトリーチや、助産院でのデイサービスに加えて、令和4年度からは宿泊施設を利用したケアにより、産後の

休息支援を行っている。

令和5年度からは、全妊婦を対象に通院費や待機宿泊費の助成により経済的支援を行っている。

**問** 事業の課題は。  
**答** 宿泊施設を利用したデイサービスは好評だが、6・9月の観光シーズンは宿泊施設が混み合うことから、調整が必要な状況である。

**問** 令和4年度の利用実績が、計画値を大きく下回った要因は。  
**答** 12月補正予算の成立後、遠野テレビ等で周知したが、周知不足だった。今年度は、実施時期と周知を少し早めながら取り組みたい。

事業を活用したい。また、各地区に配置している丸ごと相談員のネットワークも活用し、実際に必要な方を掘り起こしながら進めていきたい。

## 高齢者湯治場モデル事業 令和5年度も継続へ



たかむろ水光園のお風呂

※生活支援ハウスとは  
高齢等のため自立して生活することに不安のある方々に対して、介護支援機能居住機能及び交流機能を総合的に提供します。(利用要件に合致するか審査あり)

**問** 困難となった高齢者など、必要な方が利用できる取り組みを。  
**答** ※生活支援ハウスの申し込みが予定の部屋数を上回っており、本

新たな福祉サービスの創造が目的であり、対象者を絞った形で実施をして検証したい。

**問** 高齢者全般の健康増進や地域活性化も考慮して取り組むべきでは。  
**答** 新たな福祉サービスの創造が目的であり、対象者を絞った形で実施をして検証したい。

## 令和4年度 「遠野の未来に向けた 開拓予算」 その評価は

**問** 市として総括は。  
**答** 人口減少、少子高齢化、コロナ禍の状況の中で、事業費の見直しや国・県と連携して財源調整をしながら事業を進めてきた。財源なくして政策なしの財政運営の基本原則を守りながら、総合計画後期基本計画の着実な推進と、将来に向けての持続可能な財政運営を念頭に置きながら取り組んだ。

等への入込数、ふるさと納税が大きく増えた理由は。  
**答** こども本の森遠野の入館者数や、中心市街地の活性化策の効果と判断している。また、地域資源を活用した観光商品が開発された。ふるさと納税の返礼品にも反映され、様々なプロモーションにも取り組んだ結果である。

**問** 新型コロナウイルス感染症・物価高騰への市の対策は。  
**答** タイミングを逸しないよう、職員一丸となり、ベストに近い形で取り組んだ。



遠野の未来を望む

## 一般質問

# 11人の議員が市政を問う!

QRコードをスマートフォンで読み込むと一般質問の動画を見ることができます。



千田 由美子 議員

- ・遠野の観光振興のこれから
- ・いじめ防止の取り組み

P 8



菊池 美之 議員

- ・防災意識を高めるための取り組み

P 9



菊池 忠信 議員

- ・売れる米作りの取り組みは
- ・畜産クラスター協議会とは

P 10



小林 立栄 議員

- ・生きがいのある長寿社会へ
- ・GIGAスクール構想推進

P 11



菊池 美也 議員

- ・釜石線の存廃
- ・戦没者慰霊碑の維持管理

P 12



小松 正真 議員

- ・遠野ふるさと商社・公社に

P 13



佐々木 敦緒 議員

- ・高齢化社会の介護の在り方
- ・危険な道路改修の必要性

P 14



昆明美 議員

- ・農業生産額の回復を目指した取り組みは

P 15



宮田 勝美 議員

- ・大型化する豪雨災害への備えは

P 16



新田 勝見 議員

- ・遠野市の特産品について
- ・営農組合の組織化は

P 17



佐々木 恵美子 議員

- ・今後の子育て支援の行方は

P 18

